

各 位

2026 年 9 月 28 日
株式会社インプレス

AI で成果を出す思考法を満載！
『Gemini Notebook×ビジネスフレームワーク AIで思考を自動化する秒速仕事術』を
9 月 28 日（月）に発売
発売日から 3 日間全文を無料公開するキャンペーンも実施

インプレスグループでIT・デザイン関連メディア事業を展開する株式会社インプレス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：高橋隆志）は、ユーザーが指定したソースに基づいて回答するAI「Gemini Notebook」と、仕事の現場で鍛えられたビジネスフレームワークを組み合わせるための書籍『Gemini Notebook×ビジネスフレームワーク AIで思考を自動化する秒速仕事術』を2026年9月28日（月）に発売いたします。発売を記念し、9月28日（月）から3日間、本書の全文を無料公開するキャンペーンも実施します。



■ ソースに基づいて回答するAI「Gemini Notebook」とフレームワークでビジネスの課題を解決する

AIを使ってデータを分析しても、一般的な回答ばかりで、次のアクションにつながらない——。その一因は、AIに「何を、どのように考えさせるか」という型がないことにあります。本書ではSWOT・3C・KPTなどのビジネスフレームワークを、Gemini Notebookに考え方を指示するための「入力設計図」として活用します。本書で使用するケーススタディやプロンプトも公開しており、自分の業務に応用できます。日々直面するビジネスシーンの課題解決から自社データを宝の山に変えるワークフロー構築まで体系的に学べます。

■発売日から3日間全文を無料で公開

本書の発売を記念して、発売日の2026年9月28日（月）から9月30日（水）までの3日間限定で全文を無料公開します。無料公開には「インプレスWebブックビューアー」を使用し、インターネット接続環境があれば、パソコンやスマートフォンのWebブラウザから、登録手続きなしに全ページを閲覧いただけます。

<無料公開キャンペーン>

<https://book.impress.co.jp/books/1125101168>

キャンペーン対象期間： 2026年9月28日（月）～30日（水）

■登録不要でPC・スマートフォンから閲覧可能

LESSON 21

As-Is / To-Beで理想と現実のギャップを確認する

As-Is / To-Beとは

As-Is / To-Beは、「現在の実態 (As-Is)」と「理想の実態 (To-Be)」を並べて定義し、その差を「課題 (ギャップ)」として明確化するフレームワークです。業務改善・システム導入・組織変革などで広く使われています。

このフレームワークが特に力を発揮するのは「問題があることはわかるが、何がどうなればいいのか言語化されていない」状況です。現場の人は困っていることを具体的に語れますが、「どうなりたいか (To-Be)」を開けると答えに詰まることが多い。これでは改善の方向が定まりません。

図21-1 As-Is / To-Be

領域	As-Is (現状)	GAP	To-Be (あるべき姿)
領域①	領域①の現状	←→	領域①の目標状態
領域②	領域②の現状	←→	領域②の目標状態
領域③	領域③の現状	←→	領域③の目標状態
領域④	領域④の現状	←→	領域④の目標状態

複数領域に共通する根本ギャップ

変化を促す条件

84

このフレームワークは「As-Isは豊富だがTo-Beがない」文書などに効果的です。業務改善ヒアリングや不満調査のような素材には現状の問題が溢れていますが、「どうなしてほしいか」は曖昧なまま書かれていることが多い。NotebookはAs-Is情報からTo-Beを推測・補完してくれ、ギャップを課題として顕在化してくれます。

今回使用するデータ

使用するのは「L21_ヒアリング.txt」です。ある物流センターで、業務改善コンサルタントが、勤続22年のベテラン（入荷管理担当）と入社8ヶ月の新人（ピッキング担当）の2名に同席でヒアリングを行った記録（約40分）です。

このソースの特徴は「As-Is情報は豊富だが、誰もTo-Beを明言していない」点です。ロケーション管理は「エクセルで作ったリストがある（が去年から更新されていない）」、マニュアルは「バインダーに入ってるやつがある（スキャナー導入前の手順のまわ）」など、問題は具体的に語られています。一方で「どう変えてほしいか」を開かれたベテランは「それはちょっと決められない」と答え、新人は「リアルタイムで見られる仕組みを作りたい」と唯一の具体的なTo-Beを語っています。

図21-2 ヒアリングの議事録を使う

85

書籍の内容はWebブラウザで閲覧できます。

■本書は以下のような方におすすめです

- ・ AIツールを導入したが、一般論しか出てこないと感じている方
- ・ 単なる要約以上の、実務に直結する結果を求めている方
- ・ 自社のデータを有効活用したい方
- ・ 競合分析やアイデア出しの精度とスピードを上げたい方

■書誌情報



書名：Gemini Notebook×ビジネスフレームワーク AIで思考を自動化する秒速仕事術

著者：ただし

発売日：2026年9月28日（月）

ページ数：256ページ

サイズ：A5正寸

定価：2,200円（本体2,000円＋税10%）

電子版価格：2,200円（本体2,000円＋税10%）※インプレス直販価格

ISBN：978-4-295-02467-5

◇Amazonの書籍情報ページ：

<https://www.amazon.co.jp/dp/4295024678/>

◇インプレスの書籍情報ページ

<https://book.impress.co.jp/books/1125101168>

■本書の構成

- 第1章 なぜあなたのAIは「普通の答え」しか出さないのか？
- 第2章 ソース・マネジメントと6W2H活用入門
- 第3章 思考を整理して決断に変える
- 第4章 伝わる計画を最速でつくる
- 第5章 業務のムダをAIに指摘させる
- 第6章 自社の特長を分析する
- 第7章 市場の傾向を分析する

■著者プロフィール

ただし

noteで実務に即したAI活用の記事を発信中。特にGeminiやGemini Notebookのまとめ記事が人気。日々の記帳や請求書処理などでGeminiやGoogle Workspaceの機能をフル活用し、業務効率化を追求。現場での経験からビジネスフレームワークの知見も交え、AIの使い方をわかりやすく共有。推しAIはGemini。

以上

【株式会社インプレス】 <https://www.impress.co.jp/>

シリーズ累計 8,000 万部突破のパソコン解説書「できる」シリーズ、デザイン・グラフィック関連の書籍ブランド「MdN」、「デジタルカメラマガジン」等の定期雑誌、IT 関連の専門メディアとして国内最大級のアクセスを誇るデジタル総合ニュースサービス「Impress Watch シリーズ」等のコンシューマ向けメディア、「IT Leaders」をはじめとする企業向け IT 関連メディアなどを総合的に展開・運営する事業会社です。IT・デザイン関連出版メディア事業、およびデジタルメディア&サービス事業を幅広く展開しています。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：塚本由紀）を持株会社とするメディアグループ。「IT・デザイン」「音楽」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

【本件に関するお問合せ先】

株式会社インプレス 広報担当：丸山

E-mail: pr-info@impress.co.jp URL : <https://www.impress.co.jp/>